



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

新年あけましておめでとうございます。2016年は英EU離脱決定、そして米大統領選トランプ氏勝利という政治的混乱が続き、世界の金融市場もその反応に翻弄された1年でした。それでも年末では日経平均が5年連続上昇で終わり、米ダウ平均は史上最高値を更新、欧州でも株価は急回復する中で新年を迎えました。

11月の米大統領選以降は、トランプ新政権の景気拡大政策期待が世界のマネーを楽観サイドに揺り動かして、ドル高と米日欧先進国市場の株高を演出し、長期金利と原油価格も上昇トレンドに転ずるなど、金融市場は年末にかけて景色を一変させましたが、このトランプラリーはすべからくトランプ新大統領就任前の期待相場であり、多くの不確実性を孕む危うさと背中合わせでもあります。

それが証左に先進国の株式市場では、いずれも本来急騰すべき本源的価値を有しているとは言い難いセクターの、とりわけ大型企業が主導的に価格水準を釣り上げていて、事業価値に立脚した価格形成から乖離が著しくなっています。トランプラリー相場が一巡した後は、必ずや揺り戻しの回帰が起こるでしょう。

年末の相場動向は、真つ当なアクティブ株式運用にとっては試練の環境で、全体の値動きを追いかけたくなる誘惑に負けたファンドも少なからずあったと思われますが、相場を追わぬセゾン投信流長期投資は、泰然自若を貫いています。決して相場に勝とうとせず、相場の本来的価値への収斂を待っているわけで、本格的長期投資ファンドの真価を問う、そして長期投資を謳う運用の真贋がやがて詳らかになる局面でありましょう。

2017年は米国経済が成長トレンドをより堅固にして、日欧先進国経済にはドル高傾向の定着が追い風となって、景気回復を追従するカタチで世界経済を下支えする構図が確立する中、グローバルゼーション構造の新たなステージの幕開けとなる重要な一年になりそうです。それは地球経済の長期成長軌道安定に寄与し、「セゾン号」はそのメガトレンドを忠実にトレースして行く長期投資を変わず続けてまいります。

本年も「セゾン号」の旅をどうぞよろしく願いいたします！

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 12月の市場動向

**株式：**【途中まで上昇基調となったものの、中盤以降は米国で利上げ観測が強まったことを受けて力強さを欠く展開】

原油価格が上昇しリスク選好が強まったほか、景気の先行きへの明るい見方が維持され、途中まで上昇したものの、中盤以降は米国で利上げペースが加速するとの見方が強まって全般的に力強さを欠く展開となり、特に新興国の株式市場は軟調な展開となりました。

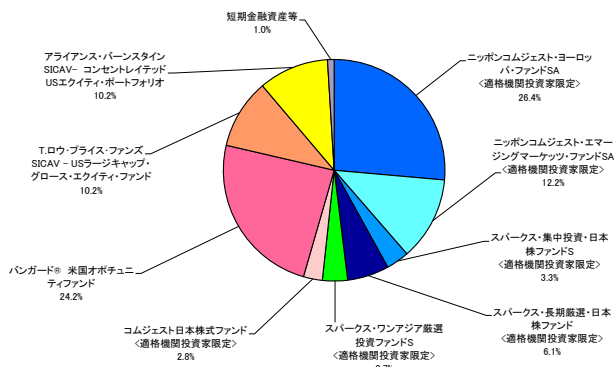
**為替：**【利上げ観測が一段と強まったドルが一段と上昇し、金融緩和の長期化観測が強まったユーロや円は対ドルで下落】

利上げペースが加速するとの見方が強まったドルが引き続き上昇し、金融緩和の長期化観測を背景にユーロは軟調な展開となりました。円は日本銀行が金利上昇を抑制する方針を示す中、リスク選好が強まる局面で下落し、対ドル、対ユーロで円安となりました。

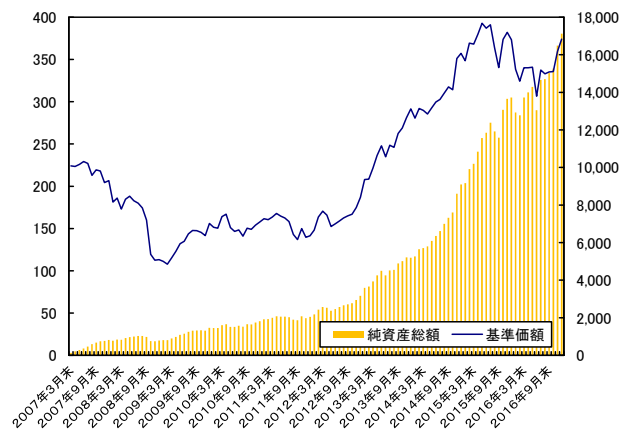
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年12月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
16,833円	380.5億円	+68.33%	+4.07%	+22.01%	+0.18%

資産配分状況(2016年12月30日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 12月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などによりご購入をいただいた一方で、受益者の皆様からのご解約が高水準となったことから、新規の投資を行っておりません。なお、現金比率は前月から低下し、月末時点で1.0%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

12月は、主要産油国が原油の減産で合意し、原油価格が上昇したことを受けて、エネルギーセクターの株式が上昇し、トランプ次期政権による規制緩和への期待が高まっていることを受けて金融セクターの株式が上昇しましたが、当ファンドの組入れファンドは、長期的な視点で本質的価値を見極めることが難しいことを理由としてこれらのセクターの株式をあまり保有していないこともあり、結果として、ほとんどの組入れファンドの騰落率が参考指数やベンチマークを下回りました。

しかし、当社では、次にどの株式が上がるかといった価格の予想を正確に行うことは不可能であると認識しており、どのような状況においても、短期的な価格の動きを追いかけることなく、調査により投資対象の本質的価値を見極めて、現在の価格が魅力的と考えられる銘柄への投資を継続することが、長期的な資産の成長に役立つものと考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆さまの長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）



セゾン投信